

2019年度 熊本大学 (前期)

医学部

試験時間：120 分

 全問必答

1 座標平面上の曲線 $C_1: y = x^2 + 2ax - 2a + 1$ および $C_2: y = x^3 + 1$ を考える。以下の問いに答えよ。

- (1) 曲線 C_1 と曲線 C_2 の共有点がちょうど 2 個になるような実数 a の値を求めよ。ただし、 $a \neq 0$ とする。
- (2) (1) で求めた a に対し、曲線 C_1 と曲線 C_2 で囲まれた部分を x 軸の周りに回転してできる立体の体積を求めよ。

2 座標平面上の直線 l を $y = ax - a - 2$ 、直線 m を $y = bx + 3b$ とおく。直線 l と直線 m は互いに直交しながら座標平面上を動くとする。ただし、 a, b は l と m の条件を保ちながら実数値をとって変化するものとする。以下の問いに答えよ。

- (1) 直線 l と直線 m の交点 P の軌跡を求めよ。
- (2) 点 $A(1, -2)$ 、点 $B(-3, 0)$ に対して、線分 AP および線分 BP の長さを a を用いて表せ。
- (3) $\triangle APB$ の面積が最大となるときの a の値を求めよ。

3 座標平面上の曲線 $y = x \sin 3x + 3x^2$ ($0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}$) を C とする。曲線 C の接線で原点を通るものを l とし、その接点の x 座標を a とする。ただし、 $0 < a < \frac{\pi}{2}$ とする。以下の問いに答えよ。

- (1) a の値を求めよ。
- (2) 曲線 C と直線 l の共有点の座標をすべて求めよ。
- (3) 曲線 C と直線 l で囲まれた部分の面積を求めよ。

4 赤球と白球の 2 色の球を用いて行うゲームがあり、手元にある球全体に対する赤球の比率が p であるとき、確率 p^2 でゲームに勝つものとする。 n を 2 以上の整数とし、赤球、白球ともに n 個入っている箱から n 個の球を取り出してゲームを行った。以下の問いに答えよ。

- (1) k を 0 以上 n 以下の整数とする。取り出した n 個の球のうち赤球が k 個となる確率は $\frac{({}_n C_k)^2}{2^n C_n}$ となることを示せ。
- (2) k を 1 以上 n 以下の整数とする。取り出した n 個の球のうち赤球が k 個となり、さらにゲームに勝つ確率は $\frac{n}{2(2n-1)} \cdot \frac{({}_{n-1} C_{k-1})^2}{2^{n-2} C_{n-1}}$ であることを示せ。
- (3) ゲームに勝つ確率は $\frac{n}{2(2n-1)}$ であることを示せ。

2019年度 熊本大学 (前期)

医学部

(略解)

☞ 証明, 図示などは省略

1

(1) $a = \frac{1}{2}$

(2) $\frac{263}{210}\pi$

2(1) 円 $(x+1)^2 + (y+1)^2 = 5$ 。ただし, 点 $(1, 0)$, $(-3, -2)$ を除く。

(2) $AP = \frac{2|a-2|}{\sqrt{a^2+1}}$, $BP = \frac{2|2a+1|}{\sqrt{a^2+1}}$

(3) $a = \frac{1}{3}, -3$

3

(1) $a = \frac{\pi}{3}$

(2) $(0, 0), \left(\frac{\pi}{3}, \frac{\pi^2}{3}\right)$

(3) $\frac{\pi^3}{54} - \frac{\pi}{9}$

4

(1) 証明略

(2) 証明略

(3) 証明略